

発行所
日本赤十字
新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区西久保
広町35(庚申ビル)
TEL.03-432-1089
発行責任者
青山圭一

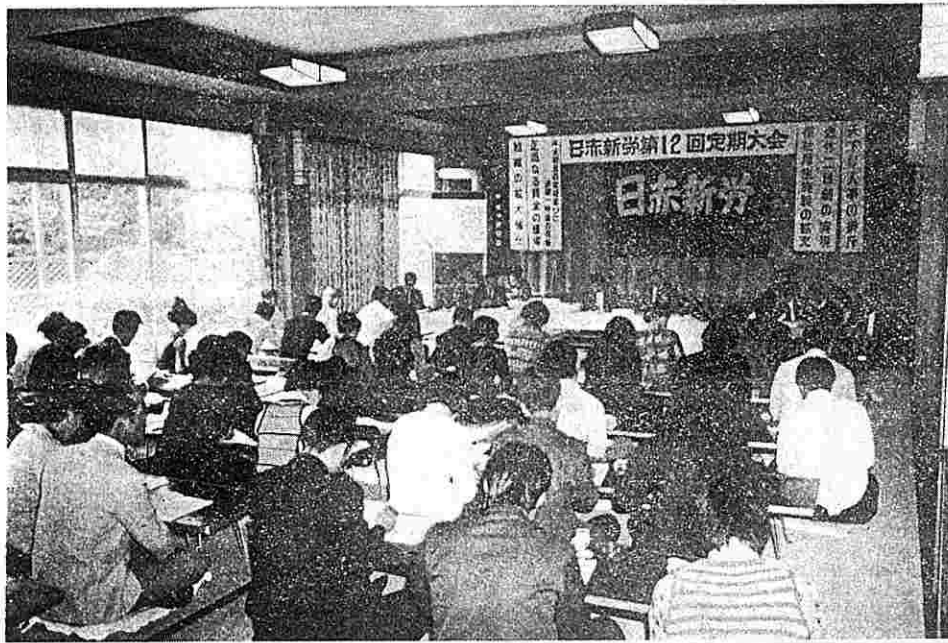
日赤新労

額
1. 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. 吾々は、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期す。
3. 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

第12回定期大会開催！！

とき 昭和48年4月5日～4月7日

ところ 静岡県河津町 国民宿舎『かわず』



大会々場風景

大会運営委員

- 役員選考委員
大向 広治 (八戸日赤)
堀江 直樹 (水戸日赤)
木下 隆雄 (名一日赤)
川崎 実二 (大津日赤) 委員長
児玉 昭信 (三原日赤)
北尾 寿一 (前橋日赤) 委員長
上杉 勝 (今津日赤)
選挙管理委員
佐々木利雄 (盛岡日赤) 委員長
大江 融 (愛知血セ)
前田 重喜 (高知日赤)
宣言文起草委員
吉田 孝 (岩手支部)
野口 武志 (岡山日赤)
龍 忠亮 (名二日赤)

第十二回定期大会

第十二回定期大会は四月五日(七日の三日間)にわたり、静岡県河津国民宿舎に於いて、本部役員、代議員、オブザーバー等多数参加のもと、盛大に開催された。
議長 高橋利行氏(福島日赤)
副議長 高橋利行氏(福島日赤)
を通過し、書記に谷口三枝さん(鳥取日赤)、本部書記夏井正氏を任命し、大会役員を上記のとおり選出した。祝電披露、執行委員長挨拶の後、報告に入った。

昭和四十八年度新役員

- | | |
|--------|-----------------|
| 執行委員長 | 川出 富治 (名一日赤) |
| 副執行委員長 | 吉村 政一 (大津日赤) |
| 書記 | 青野 圭一 (新潟支部) |
| 執行委員 | 佐藤 男一 (宮城支部) |
| | 福永 真一 (鳥取日赤) |
| | 等々力 重信 (愛知血セ) |
| | 野見川 剛夫 (八戸日赤) |
| | 野見川 剛夫 (筑前山田日赤) |
| | 源 剛夫 (盛岡日赤) |

昭和四十七年度における経過報告の中で、特に賃上げについては六月実施(昨年度より二ヶ月の前進)、血液センターに於ける初任給基準の実施、又福利厚生面では住宅資金融資制度の新設等実り多い活動内容が詳細に報告された。
三、会計報告 佐藤会計委員
昭和四十七年度決算報告をした
四、会計監査報告
中村正和監査委員
一部事務手続上不備あるも諸票書並びに諸帳簿は正確である旨報告があった。
以上の報告について質疑応答の後絶対多数をもって承認された。
審議
一、昭和四十八年度運動方針案について
一部字句修正のうえ次のとおり本部原案を可決した。
(一) 生きがいある生活の出来る賃金の獲得
(二) 組織の拡大強化
(三) 看護婦確保手当の新設
(四) 年金制度の実現並びに退職一時金の改善
(五) 週休二日制の実現
(六) 天下り人事の排斥
(七) 福祉対策と働く婦人労働者の擁護
二、昭和四十八年度予算案について

大会宣言

日赤新労第十二回定期大会を四月五、六、七日の三日間伊豆に於て開催した。吾々は昭和四十八年度運動方針として生きがいのある生活の出来る賃金の獲得、組織の拡大強化等を大要とした項目を樹立した。その貫徹のために新労理念を基調としな

新役員顔触れ



さんより力強い大会宣言文の朗読があり、新旧挨拶では旧役員を代表して山景執行委員長、新役員を代表して川出執行委員長の挨拶があった。
最後に川出委員長の音頭により万才三唱で第十二回定期大会を盛會裡に閉会した。



宣言文を読む尾崎さん (岡山日赤)

四十八年度要求書提出

(四月十二日)

要 求 書

日本赤十字新労組連合会は四月五日(七日開催)の第十二回定期大会の決議に就き、左記のとおり要求します。

記

- 一、昭和四十八年度賃上げについて
二、最低賃金の引き上げ
三、昇格基準の改善
四、特別勤務手当
五、住宅手当の新設
六、看護婦確保手当の新設
七、看護婦等の深夜手当の増額
八、産前産後の休暇中の給与改善
九、産前産後の休暇中の給与改善
十、年金制度の実現並びに退職一時金の改善
十一、看護婦の複数夜勤月八日制の確立をはかること
十二、天降り人事の排斥
十三、週休二日制の実現について
十四、保養所の設置
十五、夏期手当の統一要求
十六、給与要綱第三十五の運用を適正に実施されたい。

第一回団体交渉

第一回団体交渉は四月十二日開催され、本年度ペーパーについては、率是人働、実施時期は四月の線が最大として打ち出された。最低賃金については、額に相違があるが考慮する。看護婦確保手当については、新労の主旨はわかるが、今すぐ回答できない。

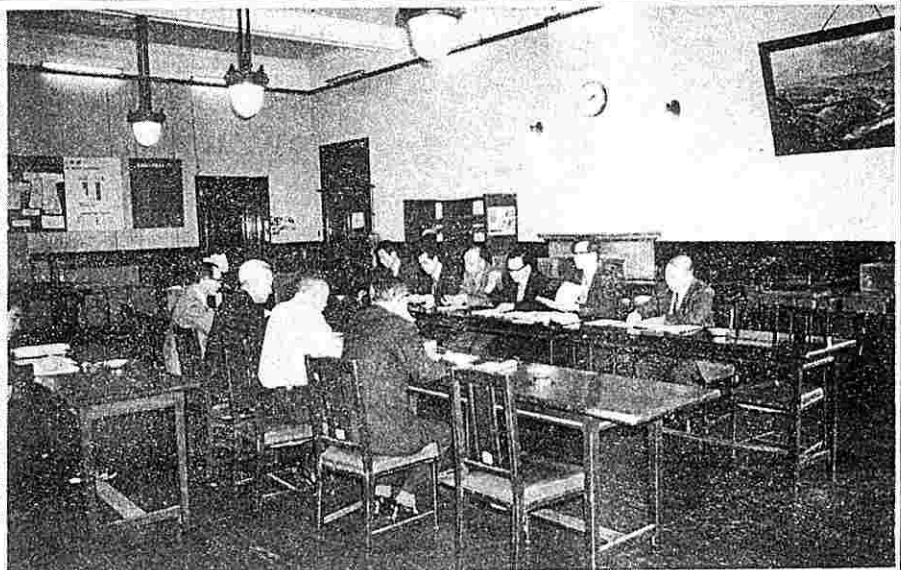
国の祝日に関する改正事項について

国民の祝日が、日曜日になるときは、翌日を休日とすることに... 新役員のプロフィール



新役員のプロフィール

福永 貞雄氏
鳥取赤十字病院職員組合
本部長執行委員及単組委員長
昭和三十八年八月二日生れ
昭和三十八年二月一日入社
(電気技師)



第1回団体交渉(新年度要求事項説明)

本社は副社長名をもつて、左記のとおり一般に通知を発送することになった。
記
日本赤十字社員就業規則の一部改正について
(昭和四十二年一月二十八日人事第八号通知)については、その一部を次のとおり改正したので通知する。

日本赤十字社員就業規則の一部改正について
(昭和四十二年一月二十八日人事第八号通知)については、その一部を次のとおり改正したので通知する。
就業規則改正事項
第二十条(休日)第一項中「二」の次に「ホ、国民の祝日が日曜日にあたるときは、その翌日を加え、かつ管下事業所の就業規則について、日赤新労は、四月十二日要求書を提出し交渉したのに対し、



等々力重信氏

「尾張名古屋は、城でもつ...」
その名古屋東山町一丁目血液センター新社屋が建設されて早や二年職員組合も結成されて七年を迎え、これからは、時期に入り充実した組合活動に期待を寄せたい。
「いやー僕なんか、本所の役員は...」
「そうですか?プロックの選挙を

制力に特に力を注ぐ役員として、新労の主腕と為り得ることを確信します。同氏は単組に於いても前本部役員山崎氏の後継者として厚く注目を浴び、その信頼度は厚く今日の当選もその信頼の賜と前委員長と同志の力強い統制力と組織力があつたからであると言えます。余暇を見出し出は労働六法に他労組の活動を配り、これに基き要望と現実性を把握しながら組合活動として如何に方針づけるかを常に前進的な眼と経過の研究を重ね実行出来る最善者であると申し添えます。亦自己の性格も勤勉さと集中力に徹した魅力と備えた人柄であり興味であるポイントから伺える計算的な頭脳は今後大いに期待の寄せられるところであります。
過去新労路線に添うた運動の内でも最も注目すべき事は昨々年の病院不況に直而した労使間交渉に於いて要求事項と同一程度の生活権を獲得出来た事は、同氏の職務的手腕を見せつけられたところでもありませう。
唯本人の一番深刻な悩みはどうかという訳が、未だ「お子さん」誕生の声を聞かれない事であり、本人も「いろいろ試みたくて」と申し添えています。
皆様の御指導を宜しくお願ひし、以上簡単ではあるが例示した如く同氏は新労発展に大きく貢献出来るものと自信を持って推進いたします。
書記長 松本 野 沢 沢 氏

「昭和四十八年度単組新役員紹介」
○東京赤十字支部職員組合
組合長 数井 紀彦
副組合長 峯崎 友子
書記長 伊藤 真彦
副書記長 佐藤 智子
執行委員 石井 安子
田中 福子
藤田 明也

○愛知県支部職員組合
組合長 柴田 勇夫
副組合長 重松 宏
書記長 中村 道明
副書記長 杉村 美代子
会計監査 久野 達成
前田 伸輔
○宮城県赤十字血液センター
執行委員長 佐藤 吉昌
副委員長 運井 正敏
書記長 池田 靖
副書記長 古郡 昭
婦人委員 湯村 純子
会計監査 今井 光子
直井 正春
○福島県赤十字血液センター
執行委員長 野田 正昭
副委員長 佐々木 秀夫
書記長 菊地 泰子
副書記長 丹治 セイ子
遠藤 慶子
小室 礼
土田 慶子
○前橋赤十字病院職員組合
執行委員長 早川 清也
副委員長 木暮 富弥
書記長 北尾 寿一
副書記長 大屋 賢治
執行委員 長谷川 ヴァ子
下田 勝枝
桐山 和代
代田 順則
○大田赤十字病院職員組合
執行委員長 小森 清志
副委員長 伊藤 清吉
書記長 國井 忠治
副書記長 池沢 喜恵子
佐藤 勝
平野 伸一
益子 寿子
吉村 正子
荒井 洋子
郡司 敏夫
○浜松赤十字病院職員組合(代議員)
組合長 仙波 紀親
副組合長 藤井 克治
書記長 藤原 勇
副書記長 佐藤 行男
執行委員 小林 初江
新井 修司
坂田 和恵
○足利赤十字病院
組合長 石田 弘一

編集後記
新労の機関紙は、編集に色々批判があるようですが、今回は本年度新役員になってから初めての号なので、みんなははきははとどうですか。組合員みなさんの活動の役に立つよう願っています。
また組合員どうしのコミュニケーションの場所として「新労サロン」(仮題)を作りたいと思つてます。原稿の内容は何でもけっこうです。気軽に投稿して下さい。(正)